

基本目標	社会的に自立した人を育てる	第1四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	子育て・教育をしてよかったと思う人の割合	%	79.2	89.0		
	地域・社会活動をする人の割合	%	55.3	65.0	—	—
政策1	①小・中学生の1年間皆勤率	%	50.3	55.0	—	—
	②子育て支援教室に満足した人の割合	%	98.6	100		
	③全国学力テスト全国順位(中3)	位	5位	5位以内		
	④中学校における英検3級取得率	%	28.0	30.0	—	—
	⑤東京オリンピック出場選手数	人	未実施	1人以上	未実施	—
	⑥小学生のスポーツクラブ参加率	%	59.9	67.0		
	⑦新体力テストA級以上者の割合	%	12.0	15.0		
	⑧町民学士認定者数	人	188	250	—	—
	⑨ましこ検定の合格者数	人	4	60	—	—
	⑩遊びの達人の登録者数	人	23	25	25	

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①不登校(傾向)生徒について、学校とスクールソーシャルワーカー等で情報交換(5/27)、ケース会議(6/3)、面談(6/24)を実施し、当該生徒や保護者への支援や対応について検討した。</p> <p>②4か月児検診、9か月児検診、12か月児健康相談等は実施できたが、子育て支援教室等は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>③学校休業中の学習については、遠隔授業(七井中)及び学習用動画配信(七井中を除く小・中学校)を行い、学びの保証に努めた。</p> <p>④外国語専科教員、外国語非常勤講師(2名)、ALT(3名)による授業研究会を実施した。外国語小中連携事業については、田野中において授業参観(6/29、6/3)を行い、学習状況を確認した。</p> <p>⑥学校の通常登校が再開(6/1)し、段階的に活動が行われるようスポーツ少年団活動や中学校部活動への支援を行った。</p> <p>⑦中学校運動部外部顧問派遣事業については、田野中(ソフトテニス部)に加え、令和2年度から益子中(卓球部)、七井中(サッカー部)に指導者を配置した。</p> <p>⑧ましこ町民大学については、益子芳星高校の生徒を対象とするカリキュラムを検討した。また、入学式に向け、学校との綿密な打合せを行った。</p> <p>⑨第1回ましこ検定実行委員会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面開催とした。</p> <p>⑩遊びの達人講座については、「ましこいきいきトライやるスクール」と連携し、開催時期及び内容について検討した。</p>	<p>1 ①スクールソーシャルワーカーによる学校訪問については、第1回目を9月までに実施できるよう調整を図り、配慮児童・生徒への効果的な指導助言を行っていく。</p> <p>②子育て支援教室や食育教室等については、母子の健やかな成長のため、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を踏まえ事業の実施を検討していく。</p> <p>③令和2年度「全国学力・学習状況調査」は中止となったが、各学校の学力向上改善プランの作成とその実現に向けて指導助言を行っていく。</p> <p>④第1回英検補助金申請は、新型コロナウイルスの影響により実績なしである。第2回(10月予定)英検に向けて、中学3年生に対し受検の受検を働きかけていく。</p> <p>⑥スポーツ少年団活動や中学校部活動については、7月から対外試合や郡市総体代替試合も始まるので、留意事項について指導助言していく。</p> <p>⑦令和2年度「児童生徒の体力・運動能力調査」は中止となったが、各学校の継続的な体力づくりを支援するため、学校が希望する運動用具の整備を進めていく。</p> <p>⑧ましこ町民大学の入学式(7/6)、第2回(7/12)～第11回(9/28)の内容について、学校及び講師との打合せを計画的に進めていく。</p> <p>⑨第2回ましこ検定実行委員会では、中学生の合格率を上げる方策等について検討していく。</p> <p>⑩遊びの達人講座については、第2回講座「竹を使ってマイ箸作り」(9/26)の開催に向けて、準備を進めていく。</p>

基本目標	社会的に自立した人を育てる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	子育て・教育をしてよかったと思う人の割合	%	79.2	89.0		
	地域・社会活動をする人の割合	%	55.3	65.0	—	—
政策1	①小・中学生の1年間皆勤率	%	50.3	55.0	82.6	69.8
	②子育て支援教室に満足した人の割合	%	98.6	100		
	③全国学力テスト全国順位(中3)	位	5位	5位以内	未実施	5位
	④中学校における英検3級取得率	%	28.0	30.0	—	—
	⑤東京オリンピック出場選手数	人	未実施	1人以上	未実施	未実施
	⑥小学生のスポーツクラブ参加率	%	59.9	67.0	—	—
	⑦新体力テストA級以上者の割合	%	12.0	15.0	未実施	12.0
	⑧町民学士認定者数	人	188	250	233	188
	⑨ましこ検定の合格者数	人	4	60	—	—
	⑩遊びの達人の登録者数	人	23	25	25	20

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①第1回スクールソーシャルワーカー学校訪問実施(9月)。各学校(7校)を巡回し、配慮児生徒への対応について指導助言を行った。第1学期皆勤率(町全体)は82.6%(去年同期69.8%)であった。</p> <p>②早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児検診時等で「レシピの紹介」や情報の発信を積極的に行った。</p> <p>③学力向上指導員派遣事業(7/22 益子小、8/4 益子西小、8/26 益子中)や学力向上推進リーダー派遣事業(田野小、益子小、益子西小、七井小)を活用し、指導力の向上を図った。</p> <p>④第1回英検終了時における3級以上取得者(中学3年)は18人で、取得率は9.9%であった。今回は学校での団体受験を中止とした。</p> <p>⑥スポーツ少年団活動については、7月以降、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら、練習や対外試合等を積極的に行った。</p> <p>⑦第1回益子町子ども体力向上プログラム作成委員会を開催(8/25)し、改訂作業を始めた。また、各学校が希望する運動用具を全て納品した。</p> <p>⑧ましこ町民大学(第8期)の入学式を開催した。入学生45名。第1回(7/6)～第11回(9/28)の講座を終了した。</p> <p>⑨第2回ましこ検定実行委員会の開催(8/25)。上級試験の実施を決定するとともに、試験問題の検討を始めた。</p> <p>⑩遊びの達人による講座については、第2回講座「竹でご飯を炊いてみよう」を開催(9/26)した。参加者13名。遊びの達人の登録者数25名。</p>	<p>1 ①文化芸術による巡回公演事業を希望した益子小の和太鼓(10/1)、益子西小の合唱(10/27)は公演中止。七井小の能・狂言(10/21)については、開催に向け公演団体と打合せを行っていく。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら子育て支援教室を開催し、安心して子育てができるよう親への支援を行っていく。</p> <p>③chrome book(学習用端末機器)の導入に向け、第2回学力向上検討委員会を開催(11/17)し、主なアプリの機能の確認と授業での活用等について研修を行っていく。</p> <p>④第2回英検においては、学校会場での受験が出来ることを踏まえ、3級以上受験者(中学3年)が大幅に増えるよう各中学校に働きかけていく。</p> <p>⑥小学生のスポーツクラブへの参加状況を把握するため、各小学校にアンケートを依頼(12/1)し、参加率をまとめていく。</p> <p>⑦「体力づくり全体計画」を踏まえ、納品した運動用具を十分に活用し、意図的・計画的に体力づくりができるようよう指導助言を行っていく。</p> <p>⑧ましこ町民大学(第8期)については、第12回(10/12)～第16回(12/21卒業式)までの内容を確認し、講師との打合せを行っていく。</p> <p>⑨第3回ましこ検定実行委員会を開催し、高校生や中学生への初級・中級の受験を積極的に働きかけていく。</p> <p>⑩遊びの達人による講座については、第3回講座「魚のつかみ取りをしよう」の開催(10/10)に向けて、遊びの達人との打合せを行っていく。</p>

基本目標	社会的に自立した人を育てる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	子育て・教育をしてよかったと思う人の割合	%	79.2	89.0		
	地域・社会活動をする人の割合	%	—	65.0	—	—
政策1	①小・中学生の1年間皆勤率	%	50.3	55.0	71.1	54.9
	②子育て支援教室に満足した人の割合	%	98.6	100		
	③全国学力テスト全国順位(中3)	位	5位	5位以内	未実施	5位
	④中学校における英検3級取得率	%	28.0	30.0	25.8	26.2
	⑤東京オリンピック出場選手数	人	—	1人以上	未実施	未実施
	⑥小学生のスポーツクラブ参加率	%	59.9	67.0	55.8	59.9
	⑦新体力テストA級以上者の割合	%	12.0	15.0	未実施	12.0
	⑧町民学士認定者数	人	188	250	233	188
	⑨ましこ検定の合格者数	人	52	60	—	—
	⑩遊びの達人の登録者数	人	23	25	25	23

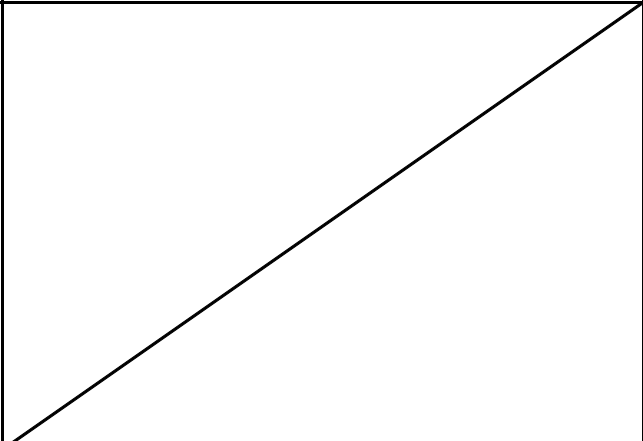
実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①文化庁巡回公演事業については、益子小(和太鼓)、益子西小(合唱)ともに公演中止。七井小(能・狂言・落語)については予定通り開催。第1・2学期の皆勤率(町全体)は71.7%。</p> <p>②ママパパ広場やあかちゃん体操・サロンなど、計画的に子育て支援教室を開催した。</p> <p>③chrome book(学習用端末機器)1人1台の導入に向け、第2回学力向上検討委員会を開催(11/17)し、主なアプリの機能の確認と授業での活用等について研修を行った。</p> <p>④中学3年生の第2回英語検定終了時における3級取得者数は47名。3級取得率は25.8%となり、前年度実績値をわずかに超えた。中学生海外派遣事業は中止。</p> <p>⑥小学生のスポーツクラブ参加率は55.8%(12/1現在)。前年度実績には届かず。スポーツ少年団秋季ハレーボール大会は実施できたが、予定していたスポーツ少年教室は全て中止。</p> <p>⑦「体力づくり全体計画」を踏まえ、納品した運動用具を十分に活用し、意図的・計画的に体力づくりができるようよう指導助言を行った。</p> <p>⑧ましこ町民大学(第8期)は、第16回のアクション発表会及び卒業式をもって終了した。卒業生は44名(益子芳星高等学校2年1組生徒)。</p> <p>⑨第3回ましこ検定実行委員会を開催(10/29)し、学校会場での中学生受検(初級)への対応や上級試験の問題等について協議した。</p> <p>⑩第3回遊びの達人による講座「魚のつかみ取り」の実施。参加者16人(小学生14人、高校生2人)。遊びの達人の登録者数は25人。</p>	<p>1 ①不登校の未然防止については、町不登校対策会議(1/7)を開催するとともに、配慮児童・生徒の情報交換会(第2回)を学校ごとに実施し、改善につながるよう指導助言を行っていく。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえ、安心して子育てができるよう各種事業を実施していく。</p> <p>③chrome book(学習用端末機器)1人1台の導入に伴い、1月中旬～3月下旬にかけて、各学校に4回程度学校ICTアドバイザーを派遣し、研修会及び授業支援を行っていく。</p> <p>④益子町ALTミーティング会議を開催し、ALTの授業ビデオを通じた学びについて研修を深めていく。第3回英語検定については、3級以上の受検者数を増やせるよう各中学校に働きかけていく。</p> <p>⑥小学生のスポーツクラブ参加率は低下傾向にあり、スポーツ少年団やましこチャレンジクラブ等への参加を促すための広報活動や情報提供等を行い、改善を図っていく。</p> <p>⑦第2回体力向上プログラム作成委員会を2月中に開催(Web会議)し、3月発行を目指し改訂作業を進めていく。</p> <p>⑧8班で発表したアクションプランについては、町民大学卒業生の指導を受けながら、その実現に向けて取り組めるよう協力体制を整えていく。</p> <p>⑨第4回ましこ検定実行委員会を開催(2/10)し、第5回ましこ検定(2/27)に向け、試験問題や上級合格者への特典等の準備を行っていく。</p> <p>⑩第4回遊びの達人による講座「竹とんぼ作り」については、3月に実施する予定である。今後、遊びの達人との打合せを綿密に行っていく。</p>

基本目標	社会的に自立した人を育てる	本年度総括 (第4四半期含)
------	---------------	-------------------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	子育て・教育をしてよかったと思う人の割合	%	79.2	89.0	82.5	+3.3
	地域・社会活動をする人の割合	%	—	65.0	—	—
政策1	①小・中学生の1年間皆勤率	%	50.3	55.0	65.9	+15.6
	②子育て支援教室に満足した人の割合	%	98.6	100	98.3	▲0.3
	③全国学力テスト全国順位(中3)	位	5位	5位以内	未実施	—
	④中学校における英検3級取得率	%	28.0	30.0	23.1	▲4.9
	⑤東京オリンピック出場選手数	人	—	1人以上	未実施	—
	⑥小学生のスポーツクラブ参加率	%	59.9	67.0	55.8	▲4.1
	⑦新体力テストA級以上者の割合	%	12.0	15.0	未実施	—
	⑧町民学士認定者数	人	188	250	233	+45
	⑨ましこ検定の合格者数	人	52	60	78	+26
	⑩遊びの達人の登録者数	人	23	25	25	+2

実施内容・成果の総括	次年度への方針
<p>1 ①スクールソーシャルワーカーによる学校訪問実施(9月・1月)や文化庁巡回公演事業(10/21 七井小:能・狂言)の開催。1年間皆勤率65.9%。目標値達成。</p> <p>②母親学級等の子育て支援教室を開催したが、その満足度は98.3%であり、目標値100%には届かず。評価項目を見直す必要あり。</p> <p>③町学力テストでは、ほぼ全学年が全国平均を上回る成績であった。全国学力テストでは、過去4回すべて5位以内確定。今年度は未実施。</p> <p>④新型コロナウイルスの影響で受検者が激減。3級取得率は23.1%まで下がり、目標値30.0%には届かず。中学生海外派遣は中止。</p> <p>⑤少年スポーツ教室や指導者教室を開催し候補者も現れたが、東京オリンピック出場選手を輩出することはできず。</p> <p>⑥スポーツクラブの参加者は横ばいであるが、スポーツ少年団の参加者が激減し、参加率は55.8%。目標値67.0%には届かず。</p> <p>⑦体力向上プログラムを活用し、新体力テストA級以上者の割合が年々上がってきたが、目標値には届かず。今年度は未実施。</p> <p>⑧益子芳星高等学校生徒(2年1組44名)を対象に町民大学を開設。アクションプラン作成。町民学士認定者数は233人。目標値250人に届かず。</p> <p>⑨第5回ましこ検定(2/27)を実施し、合格者数は78人(初級71人、中級2人、上級5人)。目標値達成。</p> <p>⑩遊びの達人による講座は第3回まで開催。遊びの達人の登録者数は25人。目標値達成。</p>	<div style="text-align: center; font-size: 2em;">/</div>

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成の育成		
施策	勁い心を持つ人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	55.0%	現状値	65.9%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	100%	現状値	98.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①②コロナウイルス感染拡大防止のため、4・5月の乳幼児健診は全日程で延期もしくは中止とした。	
	5月	①9か月児健診時のファーストブックスタート、3歳児健診時のセカンドブックスタート事業の実施。（読み聞かせと絵本の配布） ②早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。		④離乳食教室（4/10：6組）申込者に資料配布を行った。	
	6月	③保育園、認定こども園に対し『勁い心』になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ④子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①9か月児健診（6/19：13名、6/25：11名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（6/18：14名、6/26：18名）、12か月児健康相談（6/19：14名、6/24：16名）、2歳児歯科検診（6/17：27名）、1.6歳児健診（6/10：23名、6/30：19名） ④各種母子支援事業は、コロナウイルス感染拡大防止に留意し、ママパパ広場（両親学級）を実施。（6/21：3組6名）	
	7月	①9か月児健診時のファーストブックスタート、3歳児健診時のセカンドブックスタート事業の実施。（読み聞かせと絵本の配布） ②早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。		①9か月児健診（7/22：13名）、3歳児健診（7/83：16名、7/8：21名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（7/17：4名）、12か月児健康相談（7/14：16名）、2歳児歯科検診（7/15：35名） ④離乳食教室（7/16：2組4名）、ママパパ広場（両親学級）個別対応を実施。（7/13：1名、7/29：1組2名）	
	8月	③保育園、認定こども園に対し『勁い心』になるための保育・教育の実施について協力を依頼する。 ④子育て教室や食育教室等の開催により親への支援を図る。		①9か月児健診（8/26：13名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（8/28：11名）、12か月児健康相談（8/12：6名）、1歳6か月児健診（8/3：16名） ④各種母子支援事業は、予約者なく中止	
	9月			①9か月児健診（9/24：4名）、3歳児健診（9/4：22名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（9/25：4名）、12か月児健康相談（9/16：8名）、2歳児歯科検診（9/9：29名） ④ママパパ広場（両親学級）を実施。（9/27：2組4名）	
	10月			①9か月児健診（10/28：12名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（10/23：7名）、12か月児健康相談（10/22：15名）、1歳6か月児健診（10/7：14名） ④離乳食教室（10/8：6組11名）、あかちゃんマッサージ（10/26：3名）、リトミック（10/5：4名）	
	11月	①9か月児健診時のファーストブックスタート、3歳児健診時のセカンドブックスタート事業の実施。（読み聞かせと絵本の配布） ②早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。		①9か月児健診（11/26：5名）絵本配布、3歳児健診（11/6：15名） ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（11/27：8名）、12か月児健康相談（11/13：8名） ④あかちゃんマッサージ（11/9：3名）、あかちゃん体操（11/16：4名）、あかちゃんサロン（11/30：2名）	
	12月			①9か月児健診（12/23：6名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（12/25：9名）、12か月児健康相談（12/22：6名）、1歳6か月児健診（12/11：26名）、2歳児歯科検診（12/16：27名） ④ママパパ広場（両親学級）を実施。（12/6：4組8名、12/28：1組3名）、あかちゃんマッサージ（12/14：5名）、あかちゃんサロン（12/21：1名）	
	1月			①9か月児健診（1/25：9名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（1/22：6名）、12か月児健康相談（1/20：11名）、3歳児健診（1/6：18名） ④離乳食教室（1/14：3組6名）、あかちゃん体操中止、あかちゃんマッサージ：中止	
	2月	①9か月児健診時のファーストブックスタート、3歳児健診時のセカンドブックスタート事業の実施。（読み聞かせと絵本の配布） ②早寝・早起き・朝ごはんの普及啓発のために、乳幼児健診等で『レシピの紹介』や情報の発信を行う。		①9か月児健診（2/25：4名）絵本配布、1歳6か月児健診（2/5：21名） ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（2/26：4名）、12か月児健康相談（2/10：5名） ④リトミック（2/22：1名）、あかちゃんサロン（2/1：1名）	
	3月			①9か月児健診（3/22：8名）絵本配布 ※読み聞かせは中止 ②4か月児健診（3/19：5名）、12か月児健康相談（3/17：6名）、3歳児健診（3/3：23名）、2歳児歯科検診（3/24：24名） ④ママパパ広場（両親学級）を実施。（3/21：8組16名）、あかちゃんマッサージ（3/15：5名）、あかちゃん体操（3/8：4名）	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響があり、各事業が延期もしくは中止となった。実施の際は、3密を回避し、対象人数により実施内容や方法を適宜変更した。今後も母子の健やかな成長のため、感染症予防の対策を踏まえた事業実施を検討していく。</p>	<p>母子の健やかな成長が図れるよう、柔軟な方法を随時検討し、対策を講じていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえ、今後も母子の健やかな成長発達のため、また安心して妊娠・出産・子育てができるよう事業を実施していく。</p>	<p>感染症予防対策をし安全に事業を実施していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえ、今後も母子の健やかな成長発達のため、また安心して妊娠・出産・子育てができるよう事業を実施していく。</p>	<p>母子への丁寧な支援、感染予防対策を踏まえた事業を実施していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえ、今後も母子の健やかな成長発達のため、また安心して妊娠・出産・子育てができるよう事業を実施していく。</p>	

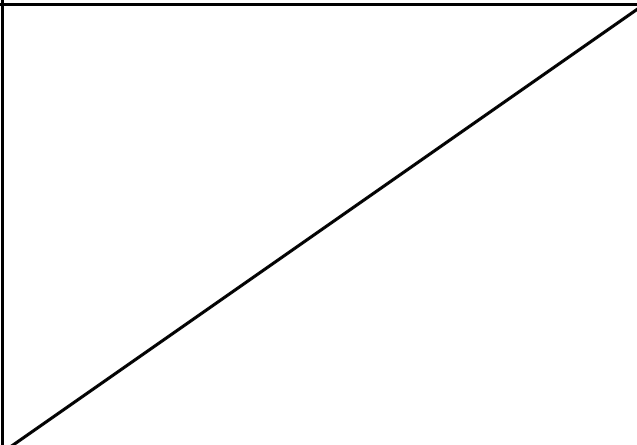
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	感染対策徹底のため、子育て支援教室は、10月から完全予約制とし、安全な実施を心掛ける。併せて参加者の満足度が得られるよう、母子や家族に寄り添った支援に努める。
	第2四半期	②意見・提言 ・前回も述べたが、子育て支援教室は子育て中の親やそれを支える家族の力になることはもちろんだが、「益子町が子育てしやすい環境が整っている町だ」ということを参加者にアピールすると共に、参加者の感想が「クチコミ」で広まる影響は大きいと思う。実践していることをHPや広報で周知することも大事だが、参加者をもっと大事にして、また継続して支援することで、参加者の「よかった」という「クチコミ」を、まだ利用していない方や次の利用世代に伝えてもらえるような内容と成果にぜひ期待したい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・ファースト・ブック、レシピの紹介を継続されたい。本選びのポイントになったり、とても参考になると思われる。 ・保健センターでのファーストブックスタート事業や健診時の読み聞かせなど、少子化にあって子育て中の方々への手厚い支援策をアピールする絶好の機会だと思う。 併せて、町の子育て支援施設「ましココハウス」の利用者（こちらの方が年代の幅が広いだろう）へのPRも重要だと思う。	（対角線あり）
	総括（第4四半期も含む）	・年間出生数が年間80人程度である現状を打開するために、子育て世代に「ずっと住んでいたい町」「子育てしやすい町」を身近なところから実感してもらい、利用者のクチコミ（特に女性の）で町外にも広めてもらえる可能性が十分あると思うので、今できることを地道に進めていただきたい。 ・町の補助金制度は他市町と比較してもとても充実していると思う。PRを。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	勁い心を持つ人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	55.0%	現状値	65.9%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	100%	現状値	98.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）	②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①各中学校の文化部に中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施し、外部指導者を派遣。保険加入処理。 ②hyper-QU事業を各小中学校へ周知する。全小中学校で第1回目を実施する。 ①学校司書を2名配置。 ①各小中学校へ文化庁事業「文化芸術による子供の育成事業」の周知を行う。 ①スクールソーシャルワーカーを1名配置。 ①学校図書館教育推進委員会を開催し、今年度の活動計画立案	①各中学校へ外部指導者の推薦を依頼、申請書受理(4/8) ①町教育委員会にて外部指導者の決定。各中学校へ派遣(4/21) ②外部指導者のスポーツ保険加入処理(4/24) ①各中学校へ「部活動の在り方ガイドライン調査結果」配布(4/8) ①学校司書2名辞令交付(4/1) ①巡回伝統芸能公演事業 決定通知到着(4/9) ・学校におけるいじめ状況月例調査(4/30)		
	5月		②hyper-QU事業を各小中学校へ周知する。(5/8) ①文化庁巡回公演事業 決定通知到着(5/19) ①不登校(傾向)の生徒について、学校とスクールソーシャルワーカー等で情報交換を実施(5/27) ・学校におけるいじめ状況月例調査(5/30)		
	6月		①学校図書館教育推進委員会の開催(6/16) ①文化芸術による子供の育成事業(コミュニケーション能力向上事業)実施希望調査出(6/12) ①不登校(傾向)の生徒について、学校とスクールソーシャルワーカー等でケース会議を実施(6/3) ①不登校(傾向)の生徒について、保護者とスクールソーシャルワーカー等で面談を実施(6/24)		
	7月		①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の(第1期分)実績報告書提出依頼(7/1) ・1学期の皆勤者数及び長期欠席者に関する調査 ・学校におけるいじめ状況月例調査 ②hyper-QU事業 第1回目実施(4小学校、七井中) ①文化庁巡回公演事業(和太鼓)事業中止報告書提出(益子小)(7/8) ①文化庁巡回公演事業(合唱)事業中止報告書提出(益子西小)(7/27)		
	8月		②hyper-QU事業(第1回目)実施 益子中(8/28) ②hyper-QU校内研修会用資料配布(8/31) ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の(第1期分)謝金支払処理(8/28) ・学校におけるいじめ状況月例調査		
	9月		・スクールソーシャルワーカー学校巡回 益子西小(9/3) 益子小(9/7) 田野中(9/8) 七井小(9/10) 益子中(9/15) 七井中(9/29) 田野小(9/30) ・学校におけるいじめ状況月例調査 ・個別ケース検討会議 七井中(9/4) ①令和3年度文化庁芸術家の派遣事業 実施希望報告(9/8)		
	10月		①栃木県巡回伝統芸能後援事業「落語～はなしの伝統芸能～」決定通知受理(七井小)(10/2) ①令和3年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)能・狂言公演実施(七井小)(10/21) ①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の(第2期分)実績報告書提出依頼(10/28) ②hyper-QU事業(第2回目)実施 田野中		
	11月		①栃木県巡回伝統芸能後援事業「落語～はなしの伝統芸能～」公演実施(七井小)(11/5) ①令和3年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)能・狂言 報告書提出(七井小)(11/19) ②hyper-QU事業(第2回目)実施 益子中		
	12月		①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の(第2期分)謝金支払処理(12/8) ①令和3年度文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)実施希望報告(12/21)		
	1月		②hyper-QU事業報告(2回目) ②不登校対策会議 1/7(つばさ教室) ・学校におけるいじめ状況月例調査		
	2月		①中学校文化部活動外部指導者派遣事業の(第3期分)実績報告書提出依頼(2/16) ・スクールソーシャルワーカー学校巡回 2/8 益子小 2/9 七井小 2/16 益子中、益子西小 2/19 益子小 2/24 田野小 2/26 七井中		
	3月		各中学校へ「令和3年度益子町立中学校文化部活動外部指導者派遣事業の派遣申請書」提出依頼。(3/11) ②不登校対策会議 3/18(つばさ教室) ・皆勤者数及び長期欠席者に関する調査 ・学校におけるいじめ状況月例調査		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①5文化部中、現在3文化部にて、中学校文化部活動外部指導者派遣事業を実施。2文化部(田野中吹奏楽部・益子中の美術部)にて、中学校文化部活動外部指導者不在という状況となっている結果である。この派遣数は昨年と同様である。</p> <p>①学校図書館教育推進委員会で、学校司書の主な業務内容について共通理解を図った。今年度は学校司書を2名配置し、学校図書館の環境整備を中心に実施予定。また、図書の廃棄、図書選定についての共通理解を図ることもできた。</p> <p>②hyper-QU事業は、学校の授業再開が6月だったことから、7月～8月に第1回目を実施することになった。</p> <p>③スクールソーシャルワーカーを1名配置し、不登校(傾向)及び配慮児童生徒の保護者に対する相談・支援や、学校に対する助言・支援を行った。しかし、学校の授業再開が6月からだったことから、各校へ訪問しての情報交換を実施することができなかった。</p>	<p>①中学校文化部活動外部指導者未派遣の2文化部がある田野中学校・益子中学校からは、随時派遣申請受付を実施。</p> <p>①児童生徒が本を借りたくなるような図書館環境の整備ができるようにする。また、各校共通の図書選定基準を作成する予定。</p> <p>②各学校及び各学級担任がhyper-QUの結果を有効に活用できるよう、教職員を対象に研修用の資料を配付する予定。</p> <p>①スクールソーシャルワーカーによる各校へ訪問しての情報交換(1回目は9月までに実施、2回目は1月～2月に実施)を予定。また、各校の配慮児童一覧をもとに情報を共有し、効果的な指導、助言をしていけるようにする。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>・スクールソーシャルワーカーが定期的に学校へ巡回したり、保護者及び学校の要請により保護者への相談・支援を行ったりした。また、健康福祉課主催のケース会議に出席し、適宜協議・助言を行った。援助の必要な家庭を福祉機関につなぐ等、学校だけでは解決できない状況に有効な役割を果たした。</p> <p>②hyper-QU研修会は実施できなかったため、校内研修用の資料を各校に送付した。校内研修を実施した学校からは、結果を今後の学年・学級経営にどのように生かすべきか考えることができた等の言葉があった。各学校のいじめ・不登校等の早期発見、初期対応の有効な支援となった。</p> <p>①次年度の文化芸術事業の希望調査について各学校に積極的な応募を促した。文化庁芸術家派遣事業について益子中から実施希望が挙がった。</p> <p>①学校司書の勤務割について、各校への希望調査と学校司書への現状の聞き取りを実施した。各学校のニーズに合わせて業務を行うよう学校司書に指示した。</p> <p>・1学期終了後、長期欠席者調査を実施した。益子町小学校が81.5%(R1同時期68.4%)、益子町中学校が80.8%(R1同時期71.8%)、益子町全体が81.3%(R1同時期69.8%)であった。</p>	<p>①適宜学校図書館の視察や学校司書との話し合いの場を設けながら、図書館整備を行っていききたい。</p> <p>①次年度の文化芸術事業について、引き続き募集案内を速やかに各学校へ周知し活用を促していききたい。</p> <p>②hyper-QU事業(第2回目)の実施を予定。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>・2学期終了後、長期欠席者調査を実施した。益子町小学校が74.9%(R1同時期54.7%)、益子町中学校が66.8%(R1同時期55.7%)、益子町全体が71.4%(R1同時期54.9%)であった。</p> <p>②hyper-QU(1回目)の結果より、学校学級生活を満足している割合は、小学生6割以上(全国平均:約4割)、中学生6割以上(全国平均:約4割)であった。</p> <p>①次年度の文化芸術事業の希望調査について各学校に積極的な応募を促した。文化庁巡回公演事業については益子小から、文化庁芸術家派遣事業については益子中から実施希望が挙がった。</p>	<p>①次年度の文化芸術事業について、引き続き募集案内を速やかに各学校へ周知し活用を促していききたい。</p> <p>②第三半期～第四半期にhyper-QU調査の結果(2回目)を得る予定。各学校で結果を分析し、不登校、いじめ対策を検討実施することで、問題行動の発生・深刻化の予防の指導支援を図りたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②益子小中学校児童生徒の第2回hyper-QUの結果分析をすると、益子町の全学年とも、学級生活満足群が全国の平均を上回り、良好である。益子町全体としては上学年になれば、全国の平均を大きく上回り、大変良好である傾向にある。よりよい学校生活や友だちづくりを行うことができているといえる。</p> <p>・R2年度終了後、皆勤者数調査を実施した。益子町小学校が67.9%(R1同時期49.9%)、益子町中学校が62.1%(R1同時期51.2%)、益子町全体が65.9%(R1同時期50.3%)であった。</p>	<p style="text-align: center;">/</p>

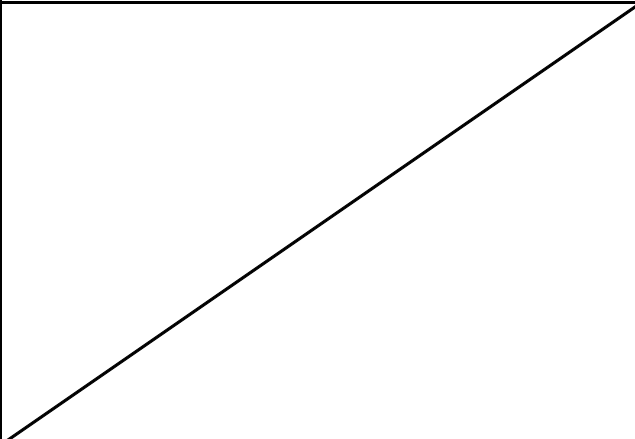
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・新型コロナウイルス感染症に十分注意しながら進めていただきたい。 ・コロナ禍で学校生活全体で様々な制約があり、また教師にとっても児童生徒にとっても経験したことのない1年だったと思う。想定を超えた長い休業や夏季休業の短縮など、ストレスの要因となることも色々あったと思うが、子ども達に大きな問題もなく過ごせたのは、現場を支える町担当部局や先生方の支援体制と保護者の理解があつたことだと思う。不要不急の外出の自粛、消毒の徹底、家庭での過ごし方、登校前の健康観察の実施など、まだまだ気を抜いてはならない環境が続くと考えられるので、町全体で児童生徒の健康と安全を第一とした支援体制を継続していただきたい。 ・コロナ禍での経験を通して、健康でいられることのありがたさや他の人を思いやる心などについて折に触れて指導してきたことが、マスク着用、手洗いやうがい、教室の換気など、実践を通して学ぶとても良い機会になったと思う。実際に、季節性インフルエンザが前述の実践によって抑えられているのは好例だと思う。継続することが何よりだと思われる。	R3.1.6現在、季節性インフルエンザの感染報告は0件である。次半期も引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策に努め、児童生徒の健康と安全を第一とした支援体制の継続に努めたい。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・2委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・2委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・皆勤率の向上については、学校を楽しみと感じられること、自分の居場所があると実感できる生活・つながりをつくっていくことが、今までも、そしてこれからも求められると思う。「学校に行きたい」と子どもが思えるような環境づくりを今後も継続されたい。 (授業改善、行事の見直し等) そのため、①年間2回のQUテストによる学級の現状分析と改善策の実施や、②学校と子ども、保護者の心のサポート、そして多方面からの支援をコーディネートするスクール・ソーシャルワーカーの配置は今後も重要になってくると考える。(学校教育課と健康福祉課の横の連携) 一時的に、学校に足が向かない子たちにとっての「安心できる居場所づくり」もこれから一層重要になってくると考える。行政のしっかりとしたサポートが望まれる。(つばさ教室のネット環境整備は◎だった。) また、コロナ禍にあつて、文化事業については一般でもなかなか実施・参加が難しいところだが、各学校からの要望を十分聞いた上で、実行可能な範囲で継続できることを願う。	対角線
	第4四半期	・小・中学生の1年間皆勤率は目標値を上回り、KPIが達成された。令和2年度は休校もあり、コロナの影響がかなりあったと思われるが、今後も小・中学生が楽しく通える学校であつて欲しいと願う。 ・各中学校の外部指導者、学校司書、スクールソーシャルワーカーの配置をすることは、先生の仕事を軽減できるので、継続されたい。また、いろいろな先生方と協力しながら意見交換もできるので良いと思う。 ・いじめ、不登校などの初期発見・早期対応のため、アンケートを何度か行う必要がある。なかなか言い出せずにいる子のSOSのタイミングもあると思うので、何度か実施すると良いと思う。 ・hyper-QUの実施、スクールソーシャルワーカーの活動など、より子供の立場に寄り添う施策が行えたのではないかな。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	勁い心をもつ人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	小・中学生の1年間皆勤率	本年度目標値	55.0%	現状値	65.9%
KPI	「子育て支援教室に参加し満足した人」の割合	本年度目標値	100%	現状値	98.3%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①移動音楽鑑賞教室の児童送迎バス会社の決定（4/7） 移動音楽鑑賞教室の児童送迎バス会社へ新型コロナウイルスの影響により車両不使用のお知らせ通知発送（4/24） 各小学校へ新型コロナウイルスの影響により中止のお知らせ通知発送（4/24）	
	5月	①移動音楽鑑賞教室開催に向けての準備・調整を行い、6月2日に開催する。		—	
	6月			—	
	7月			—	
	8月	—		—	
	9月			—	
	10月			—	
	11月	①次年度の移動音楽鑑賞教室の企画をする。		—	
	12月			—	
	1月			—	
	2月	①次年度の移動音楽鑑賞教室の日程調整をする。		①次年度の移動音楽鑑賞教室実施の有無を校長会で図り、益子西小学校単独開催が決定した（2/2）	
	3月			—	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①本年度は、トニー山本他3名を招き、「リンゴマ〜大地の響きにのせて〜」と題して、移動音楽鑑賞教室を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となってしまった。</p>	<p>①今までは1年ごとに小学生と中学生を交互に音楽鑑賞教室を実施していたが、今年度小学生を対象にした移動音楽鑑賞教室が開催できなかったため、来年度は中学生ではなく小学生を対象とし、小学生が興味をもってくれるような催し物について検討していきたい。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>第3四半期</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①次年度の移動音楽鑑賞教室は益子西小学校に決定したため、担当教諭と打ち合わせを行い、10月8日(金)午前、益子西小体育館で開催したいという希望調査票を芳賀教育事務所に提出した。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	本年度も例年同様に移動音楽鑑賞教室を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまった。 次年度はコロナ禍の中で実施するか、実施する場合はどのような形にするか（対象学年、町民会館での合同開催あるいは単独学校での開催等）検討していきたい。
	第2四半期	②意見・提言 ・コロナが落ち着いたら、移動音楽教室（心を育てる）の実施をお願いしたい。	
下半期	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	第4四半期も含む）	②意見・提言 ・生の演奏、体験として公演事業の機会を（落ち着いたら）設けていただきたい。規模はホール、または各学校で行うものでもどちらでもよい。 ・今年度はコロナ禍のため事業が実施されず残念である。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	全国学力テスト全国順位（中学3年時）	本年度目標値	5位以内	現状値	未実施
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	30.0%	現状値	23.1%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいく 今年度の予定について計画を立てる	① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	5月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	6月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	7月	①育脳プログラムの啓発普及に取り組んでいく	① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	8月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	9月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	10月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	11月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	12月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	1月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	2月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		
	3月		① ましこっこハウスと連携し普及啓発に努める。感染防止に努め、事業を検討し実施する。		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み計画立案する</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①各母子保健事業（個別面接）等、個別対応時に普及啓発を図っている。今後は、集団活動時にも普及啓発が図れるよう、感染拡大の状況を見ながら検討している。。</p>	<p>引き続き継続していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①各母子保健事業（個別面接）等、個別対応時に普及啓発を図っている。今後は、集団活動時にも普及啓発が図れるよう、感染拡大の状況を見ながら検討している。。</p>	<p>引き続き継続していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①各母子保健事業（個別面接）等、個別対応時に普及啓発を図っている。今後は、集団活動時にも普及啓発が図れるよう、感染拡大の状況を見ながら検討している。。</p>	

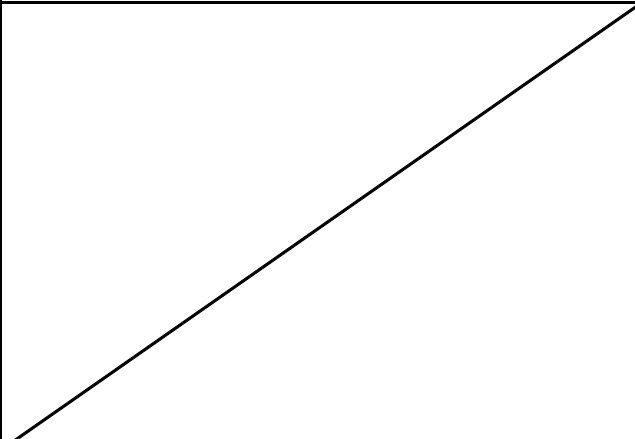
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	感染対策に努め、ましこっこハウスと連携し、普及啓発を継続していく。。
	第2四半期	②意見・提言 ・「育脳」については、ましこっこハウスの利用者には少しずつ浸透はしてきているようだが、まだまだ町民の理解を得ているとは言えないと思う。「プログラム」という名前にあるとおり、町で捉えた、町で進めようとしている「益子町版育脳プログラム」をまずは利用者にわかってもらい、利用者に「何かおもしろいことをやっているぞ」と思わせることが新規の利用者を増やす手立てになると思う。興味深い要素をたくさん含んでいると思うので、利用者をただ待っているのではなく、PRを積極的にすることで、利用者に、「子育てに力を入れている町＝益子町」をアピールして欲しいと思う。（ふるさと創生事業の内容にも関連が深いと思うので、若い人たちに益子町に転居してもらうためにも、より積極的に取り組むことを期待している。）	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	（この領域は斜線表示されています）
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・育脳プログラムについては前回も述べたが、町民に理解してもらうには時間がかかると思う。 ・育脳プログラムをベースとして、「ましこっこハウス」では、絵やイラストなどを使って、「育脳の考え方」や「この活動（あそび・うごき）の具体的な効果」を示すなどして、親子あそびをとおして体感してもらえるように工夫して取り組んでいるので、継続して進めていただきたい。 また、ましこっこハウスの利用については、コロナ禍にあっても他市町からの利用の問合せも多いと聞いている。そこで、地方創生事業「引き出し能力・延ばせ才能・子育てプロジェクト」の町外からの受け入れを増やし、子育て世代に優しい益子町をアピールできる良い施設だと思っている。町として横の連携をとって、しっかりした支援体制をつくっていくことを期待したい。（※実際に町外の利用者からの相談もあり、それがきっかけとなって移住してきた方がいるとのこと。） ・コロナ禍により事業が実施されず残念。 ・育脳プログラムの成果はどうだったのか。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成	進捗状況	80%		
KPI	全国学力テスト全国順位(中学3年時)	本年度目標値	5位以内	現状値	未実施
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	30.0%	現状値	23.1%
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	③マイチャレンジ推進事業補助金の内示 ③各中学校よりマイチャレンジ推進事業補助金事業計画書の提出 ③各中学校へマイチャレンジ推進事業補助金の交付決定、概算払い ②英検検定料補助金運用について、HPや紙文書で各中学校へ周知する。 ②ALTを小学校3名、中学校2名を配置。 ②小学校外国語活動推進委員会を開催し、今年度の活動の計画を立てる。②外国語小中連携授業参観を行う。 ・益子町学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、全国学力学習状況調査 ・学力向上検討委員会を開催し、今年度の活動計画立案。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ・プログラミング教育推進委員会を開催し、今年度の活動計画立案。 ・益子町教育委員会指定研究推進校 補助金事業計画書の提出 七井中		③マイチャレンジ推進事業補助金内示(20,000円×8学級分)(4/1) ③マイチャレンジ推進事業補助金事業計画書受理・概算払等処理(4/13~20)	
	5月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 事業補助金の交付決定、概算払い 七井中		②外国語専科、外国語非常勤講師、ALTによる授業研究会を実施(5/20、5/29) ・遠隔学習のための機器操作に関する研修会(5/7) ・Google Classroomによる遠隔授業実施 七井中(5/11~5/29) ・YouTubeによる学習用動画配信(七井中を除く小中学校)(5/11~5/29学校により随時)	
	6月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 事業補助金の交付決定、概算払い 七井中		②ALTミーティング実施(6/24) ②小学校外国語活動授業参観 田野中(6/29、30) ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 事前打ち合わせ 益子小(6/22)	
	7月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 事業補助金の交付決定、概算払い 七井中		・益子町教育委員会指定研究推進校 補助金事業計画書の提出 七井中 7/1 ・第1回プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小(7/2) ・プログラミング教育研修会(オンライン研修会)(7/6~) ・第1回プログラミング教育推進委員会(7/27) ・各小中学校へ「学力調査結果活用研修会に係る研修動画及び研修資料の掲載について」送付(7/31) ・学力向上指導員派遣事業 益子小(7/22)	
	8月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 事業補助金の交付決定、概算払い 七井中		・第1回学力向上検討委員会(8/27) ②第1回英検検定料補助金支払(8/11) ②小学校外国語活動推進委員会(8/24) ・学力向上指導員派遣事業 益子西小(8/4)、益子中(8/26)	
	9月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 事業補助金の交付決定、概算払い 七井中		②小学校外国語活動授業参観 七井中(9/15) ・第2回プログラミング教育応援チーム派遣事業授業研究会のための検討会 益子小(9/25) ・各小中学校へ「第1回学力調査結果活用説明会における講話動画の公開について」送付(9/11)	
	10月	③マイチャレンジ推進事業実施予定(田野中・11/11~11/13) ③マイチャレンジ推進事業実施予定(益子中・11/11~11/13) ③マイチャレンジ推進事業実施予定(七井中・11/18~11/20) ②小学校外国語活動推進委員会研究授業及び授業研究会 ・プログラミング教育推進委員会研修会研究授業及び授業研究会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 計画訪問 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ・益子町学力学習状況調査(小学校全学年対象)		③マイチャレンジ推進事業補助金 戻入処理(3中学校分)10月随時。 ・小中連携外国語活動授業参観 益子中(10/20) ・第2回プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小(10/30)(プログラミング教育授業研究会) ・益子町中学校デジタル教科書デモ会(10/22)	
	11月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 計画訪問 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ・益子町学力学習状況調査(小学校全学年対象)		・第2回 外国語活動推進委員会(年間指導計画の改訂について)(11/2) ・第2回 学力向上検討委員会(GIGAスクール事業に関する研修)(11/17) ・学力向上指導員事業 益子小(11/18) ・益子町外国語科研修会 外国語科非常勤講師対象(11/20) ②第2回英検検定料補助金支払(11/30)	
	12月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 計画訪問 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ・益子町学力学習状況調査(小学校全学年対象)		・学力向上指導員事業 益子中(12/2) 益子西小(12/9) ・外国語出前授業 田野小(12/8) 益子西小(12/18) 益子小(12/23) ・町独自学力テスト実施 小学校4校(12/16、17) ・サポート事業 12/17 益子中学校 ・プログラミング教育研修会 マイクロピットの活用法(12/18) ・GIGAスクール事業に関する活用研修(12/21) ・益子町特別支援研修(12/21)	
	1月	③広報ましこにマイチャレンジの様子を掲載(3中学校) ②小学校外国語活動推進委員会を開催し、成果評価及び次年度の計画立案。 ・学力向上検討委員会研修会を開催し、成果評価及び次年度の計画立案。 ・プログラミング教育推進委員会研修会を開催し、成果評価及び次年度の計画立案。 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町学力調査の結果の分析や学力向上改善レポートの作成の支援をする。		・学力向上推進リーダー授業参観 1/19益子西小 1/20益子小 1/21七井小 ・第3回プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 1/19 ・学力向上指導員事業 1/25 益子小 1/27 益子小 ・GIGAスクールに関する授業支援 1/28益子西小	
	2月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 計画訪問 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ・益子町学力学習状況調査(小学校全学年対象)		・GIGAスクールに関する授業支援 2/3 田野中 2/5 益子小 2/5田野小 ・学力向上推進リーダー授業参観 2/1 田野小 ・学力向上検討委員会(益子町学力調査の結果の分析や学力向上改善レポートの作成の支援) 2/8 ・学力向上指導員事業 2/10 益子中 ②第4回外国語活動推進委員会 2/18 ・中学校教諭による外国語活動出前授業 2/25 七井小	
	3月	・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査の結果の分析や学力向上改善プランの計画作成の支援をする。 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ②小学校外国語活動推進委員会研修会 ・学力向上検討委員会研修会及び ・プログラミング教育推進委員会研修会 ・プログラミング教育応援チーム派遣事業 益子小 ・益子町教育委員会指定研究推進校 計画訪問 ・学力向上指導員、学力向上推進リーダーと連携し、授業者の指導力向上の支援をする。 ・益子町学力学習状況調査(小学校全学年対象)		・GIGAスクールに関する授業支援 3/3 七井中 ・第2回プログラミング教育推進委員会 3/9 ②第3回英検検定料補助金支払 3/8	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②中学校3年生について、昨年度までの英検3級以上取得者数は11人。第1回英検補助金申請は、新型コロナウイルスのため実績なし。 ・全国学力学習状況調査、とちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査及び生活・意識調査は、新型コロナウイルスのため実施できなかった。 ・外国語専科、外国語非常勤講師、ALTによる授業研究会を実施し、新型コロナウイルス感染防止対策の中で工夫して授業が行えるよう共通理解を図ることで、スムーズに実施することができた。 ・臨時休業中、各校の状況に応じた遠隔学習を実施することができた。特に七井中学校では、Google Classroomによる効果的な遠隔授業を実施することができた。</p>	<p>②益子町小学校外国語活動推進委員会を実施し、年間指導計画の改善等が図られるよう、指導支援をする。 ・学力向上検討委員会を開催し、各校の課題をもとに、各学校ごとの学力向上改善プランを作成できるよう、指導支援をする。また、児童生徒一人一人の学力の補充と授業者の指導力が向上できるよう、県教委や芳四教研協と連携して各学校を支援する。 ・プログラミング教育推進委員会を実施し、プログラミング教育が実践できるよう指導支援をする。また、プログラミング教育について共通理解を図るためにオンラインでの研修会を開催する予定である。 ・新型コロナウイルスの第2波、3波に向けて、遠隔学習を効果的に進められるよう、指導支援をする。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>②中学校3年生について、英語検定第1回終了時における3級取得者数は15人で、3級取得率は8.2%である。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校での団体受験を実施せず、塾等での個人受験のみだった。 ②益子町小学校外国語活動推進委員会で、小中連携事業、今年度の益子町の研究主題、年間指導計画の改定などについて協議した。 ・学力向上指導員派遣事業では、第1回目の訪問(益子中学校3校)を実施した。昨年度のとちぎっ子学習状況調査の分析をもとに学力向上改善プランや授業研究会について確認した。 ・益子町プログラミング推進委員会で、今年度の授業研究会、研修会、授業実践の方向性などについて協議した。 ・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため夏季のプログラミング教育の研修会を実施することができなかった。そのため、益子小学校のプログラミング教育応援チーム派遣事業の研修内容を動画で視聴できるようにし、オンライン研修会を実施しプログラミング教育の基本的な考え方の理解を図った。</p>	<p>②英語検定のましこ未来計画KPIについて、校長会等で各学校へ説明し、理解を得られるよう努めたい。 ②外国語活動の年間指導計画についての研修会を開催し、適切に年間指導計画の改定ができるようにしていきたい。 ・プログラミング教育についての理解を深めていくために、研究授業及び授業研究会や教材の使い方についての研修会を開催していきたい。 ・G Suite for Educationに関する研修会を開催し、GIGAスクール構想による一人1代の端末機器を有効に授業に生かせるようにしていきたい。 ・学力向上指導員派遣事業及び学力向上推進リーダー事業を生かし、各学校の学力向上改善プランをもとに検証改善サイクルの確実な運用を図り、児童生徒一人一人の学力を向上させるように、県教委や芳四教研協と連携して各学校を支援する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全ての中学校においてマイチャレンジ推進事業は実施することができなかった。 ・学力向上指導員派遣事業で、各学校の学力向上改善プランをもとに、研究授業や授業研究会を実施し、教師の指導力向上の検証・改善を行った。 ・GIGAスクール事業では、益子町の一人一台端末の整備に向けて、授業等で活用していくための研修会を実施することができた。 ②中学校3年生について、英語検定第2回終了時における3級取得者数は38人で、3級取得率は20.9%である。</p>	<p>・第4半期に向けて、引き続き学力指導員派遣事業を実施し、校内研究授業等において、PDCAの検証改善サイクルを確実に運用できるように、指導・支援をしたい。 ・一人一台端末が導入になり、ICTアドバイザーと連携をとりながら、授業で有効に活用できるよう指導・支援をしたい。 ②英語検定のましこ未来計画KPIについて、校長会等で各学校へ説明し、理解を得られるよう努めたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>・町独自学力調査の分析結果では、1年生は国語、算数、2年生は算数、3年生は国語、算数、4年生は国語、算数、理科、5年生は国語、理科、6年生は国語、算数、理科、社会で全国平均を上回り良好な結果であった。2年生は国語、5年生は算数、で全国平均を下回り、学力向上への対策が必要である。GIGAスクール構想による1人1台の端末の導入が済み、タブレットPCを活用した授業に取組始めた。 ②中学校3年生について、英語検定第3回終了時における3級取得者数は39人で、3級取得率は21.4%である。</p>	<p style="text-align: center;">/</p>

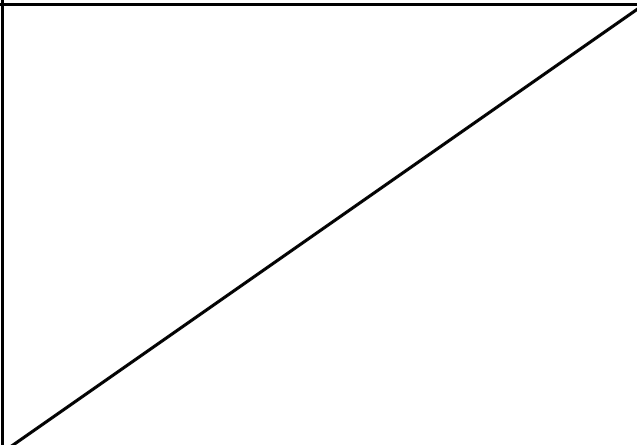
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・コロナが落ち着いたら、マイチャレンジで社会勉強や体験をさせて欲しい。 ・英検の補助については、このまま継続していただきたい。 ・学習用端末機器の導入は順調に進んでいる様子。よろしく願いたい。 ・約2か月の臨時休業のため、夏休みの短縮など、授業時数の確保に苦労されたと思う。多くの行事の中止や簡略化（短縮）など、難しい選択をしなければならなかったと思う。「次につながる」中止や短縮だったかの検証をぜひお願いしたい。「学ぶ力」をどこで発揮したか、どう生かしたかを評価し、次年度の計画を立てる材料として欲しい（PDCAをしっかりと）。	マイチャレンジについては次半期も新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれないため、実施はしない。次年度は実施予定。英検補助については、次半期も引き続き実施予定である。 GIGAスクール推進事業では、ICTアドバイザーとも連携を図りながら、研修を実施したり、授業への支援・指導を行いながら、有効に活用できるように努めていきたい。また、教職員や児童生徒が活用しやすくなるよう、使い方のルールやマニュアルを整備していきたい。 コロナのために教職員の出張が減ったことや学校行事の精選等により、授業時数の確保はできた。コロナウイルス対策を行いながら、「学ぶ力」の向上に繋がられるよう、教職員への授業の支援や指導を実施していきます。
	第2四半期	・GIGAスクール推進事業で、Wi-Fi環境と1人1台のタブレット整備が年内に実現できるとのこと、たいへん良かったと思う。さらに、ハード面の整備だけでなくソフト面の支援（現場の先生方への）が町としては必要だと思うので、そのための予算をきちんと確保して欲しい。さらに、個別の支援が必要な児童生徒の学習機会をきちんと確保するためにも、タブレットがきちんといきわたり、有効に活用した学習活動ができるように、学校教育全体をみて「抜けない」ように支援をお願いしたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・1委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・2委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・エアコンの設置、タブレットの導入など、迅速な対応だった。全国学力テストの順位の数値目標はそぐわないのではないかと。 ・マイチャレンジはどんな仕事に関わっても、いろいろな角度から社会勉強になると思うので、継続されたい。 ・指標としていた全国学力・学習状況調査が中止となったが、各学校での学習に関する実態把握は年度ごとに行い、それを小学校では6年間、中学校では3年間の中でその学年、教科等に応じた指導法の改善等を、県の学力向上プログラム等に沿った形で進めることはできているようだ。（※年度末に各学校で実施したベネッセの学力診断テストの結果から） また、英検3級取得率については、コロナ禍にあって年間の受験回数が減ったことも目標達成に至らなかった大きな理由だと思う。引き続き、補助金支援のPRをしていくことが必要とだ思う。 ・GIGAスクール推進事業では、他町に先んじて児童生徒へのタブレット整備ができたので、今後は、ハード面だけでなく、活用面での人的支援なども含めて行政からの支援が課題だと感じた。 ・マイチャレンジ推進事業は地域とのつながりを絶やさないう、工夫をして継続をしてほしい。 ・中学校における英検3級取得率：KPI未達成 中学生は部活動があり、英検の勉強に時間を確保することが難しく、受験者も少なく取得率増加に至らないのではないかとと思われる。生徒たちの将来のためにも、英検前の強化学習等、合格できるようサポートに取り組んでいただきたい。	/
総括（第4四半期も含む）			

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる		政策	未来にはばたく人財の育成	
施策	学びを通して社会に貢献できる人財の育成		進捗状況	100%	
KPI	全国学力テスト全国順位（中学3年時）	本年度目標値	5位以内	現状値	未実施
KPI	中学校における英検3級取得率	本年度目標値	30.0%	現状値	23.1%
KPI		本年度目標値		現状値	
①年間計画（スケジュール・工程）			②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月		-		
	5月	④自習室の設置（公民館空き部屋の開放）	-		
	6月		-		
	7月		7/12 第2会議室（4名）、視聴覚室（2名）を学習室として開放		
	8月	④自習室の設置（公民館空き部屋の開放）	-		
	9月		-		
	10月		-		
	11月	④自習室の設置（公民館空き部屋の開放）	-		
	12月		-		
	1月		-		
	2月	④自習室の設置（公民館空き部屋の開放）	2/27 改善センター会議室2名学習室として開放		
	3月		3/14 改善センター会議室3名学習室として開放		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点
第1四半期	新型コロナウイルス感染症の影響で自習室を開放しなかった。	新型コロナウイルス感染症が終息次第開放する。
第2四半期	図書室の学習コーナーを開放したが、新型コロナウイルス感染症の影響が利用が少ないため開放日も少なかった。	必要に応じて会議室を開放する。
第3四半期	利用はなかった。	必要に応じて会議室を開放する。
第4四半期	改善センターのみの利用があった。	

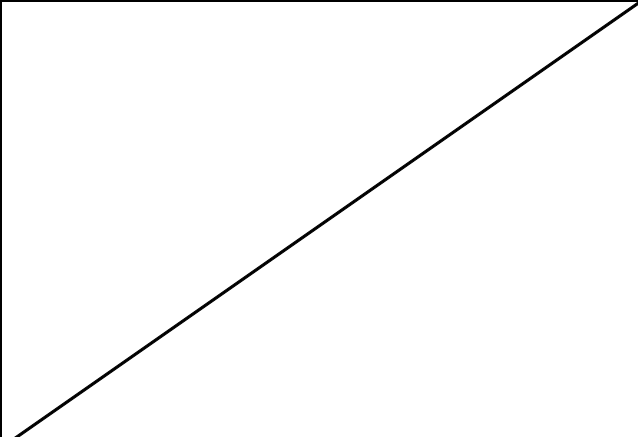
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・1委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員	
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 ・自習室の設置は、利用する子供達の意見を聞き、より充実されたい。 ・公民館空き部屋の開放については、小・中・高にお知らせする等、周知したのか。図書室、駅舎内で勉強する学生が見受けられ、学習する場を探し求めている生徒が実際にいる。町HPやSNSで情報発信してはどうか。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	たくましく生きる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	1人以上	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	67.0%	現状値	55.8%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	15.0%	現状値	未実施
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	⑤運動をを通した健康づくりの推進と合わせて計画を立案する	① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	5月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	6月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	7月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	8月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	9月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	10月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	11月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	12月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	1月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	2月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		
	3月		① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により運動不足が考えられるので、事業再開に向けて感染拡大防止を視野に入れた計画を立てる</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み運動不足や免疫力アップの計画立案する</p>
<p>第2四半期</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止や外出自粛要請により集団での事業を控えている。今後は、感染拡大の状況を見て普及に努めたい。</p>	<p>引き続き、感染拡大の状況を見て、普及に向けて検討していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>① 感染拡大の状況を見て普及に努めたい。</p>	<p>引き続き、感染拡大の状況を見て、普及に向けて検討していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>① 感染拡大の状況を見て普及に努めたい。</p>	

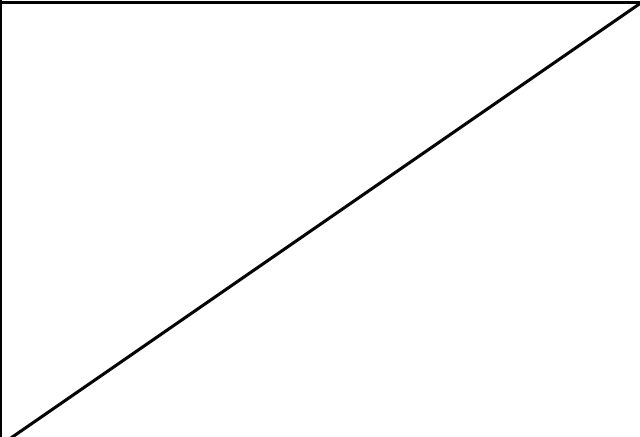
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	引き続き、感染拡大の状況を見て、普及に向けて検討していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・特になし	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	農政課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	1人以上	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	67.0%	現状値	55.8%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	15.0%	現状値	未実施
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	⑥農村公園遊具等の点検	⑥点検日4/3 本郷農村公園滑り台着地点 砂不足につき、川砂投入（2㎡）		
	5月		⑥点検日 5/25 農村公園5か所（原 長堤 荒町 本郷 小泉） 特に問題なし		
	6月		未実施		
	7月		⑥7/2 原農村公園 滑り台階段部分のボルト取り付け、フェンス下地面陥没のため侵入防止ロープ設置 ⑥点検日 7/21 農村公園5か所（原 長堤 荒町 本郷 小泉） 特に問題なし		
	8月		未実施		
	9月		⑥点検日 9/28 農村公園5か所（原 長堤 荒町 本郷 小泉） 特に問題なし		
	10月		未実施		
	11月		⑥点検日 11/24 農村公園5か所（原 長堤 荒町 本郷 小泉） 一部修繕が必要な箇所あり		
	12月		未実施		
	1月		⑥点検日 1/4 農村公園5か所（原 長堤 荒町 本郷 小泉） 特に問題なし		
	2月		⑥2/19 原農村公園 フェンス下の地面陥没箇所修繕のための土を搬入 ⑥点検日 2/26 農村公園5か所（原 長堤 荒町 本郷 小泉） 一部修繕が必要な箇所あり（原）		
	3月		⑥3/4 原農村公園 フェンス下の地面陥没箇所を修繕		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>⑥遊具などに大きな支障はない。</p>	<p>⑥遊具等の点検を継続すると共に、施設の老朽化対策を検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>⑥点検の結果はおおむね良好だが、老朽化が進んでいる遊具が多い。</p>	<p>⑥利用者が遊具等を安全に利用できるよう、引き続き点検および整備を実施する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>⑥点検の結果はおおむね良好だが、一部修繕が必要な箇所あり。(原農村公園：フェンス下の地面陥没、荒町農村公園：鉄棒の接続部分が一部破損)</p>	<p>⑥遊具の点検を継続すると共に、修繕が必要な箇所については整備を進めていく。 原農村公園については、近くで農地水多面的機能支払交付金事業の農道工事が実施されるので、社会貢献の観点から無償で法面の土羽修繕を行っていただくよう、施工業者へ働き掛けて行く。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>原農村公園の地面陥没修繕については、財源節約のため近隣工事業者からの協力を仰ぎ、無償で盛土材を運搬した。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	内部検証および外部検証結果を踏まえ、取組を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・1委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・農村公園の維持管理については、利用頻度にかかわらず点検や修繕がきちんとなされていることは管理責任者として不可欠の要件だと考える。 ・各地域に点在する公園も同様だが、災害時には一次避難場所（人員の安否確認場所）としての利用もあるので、「公園マップ」なども整理しておくとういと思う。 ・農村公園については現状のままでもよいのか。住民の意見を聞いてもよいのではないのか。	
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	学校教育課		
基本目標	社会に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きる人財の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	1人以上	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	67.0%	現状値	55.8%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	15.0%	現状値	未実施
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知	①各中学校へ外部指導者の推薦を依頼、申請書受理(4/8) ①町教育委員会にて外部指導者・部活動外部顧問の決定。各中学校へ派遣(4/21)②外部指導者・部活動外部顧問のスポーツ保険加入処理(4/24) ③運動用具購入希望計画書の提出依頼(4/13) ①各小中学校へ「保健体育での武道の安全管理徹底文書」「部活動の在り方ガイドライン調査結果」「栃木県体力・運動能力調査中止通知」等配布(4月随時)		
	5月	②各中学校の運動部に中学校運動部活動外部指導者派遣事業、部活動顧問派遣事業を実施し、外部指導者・外部顧問を派遣。保険加入処理。 ③児童生徒の運動能力向上のため運動用具を整備	③七井中より運動用具購入希望計画書受理・購入(5/20) ①各小中学校へ「子どもの体力向上啓発資料」「児童生徒体力向上指導者研修会中止通知」等配布(5月随時)		
	6月		③田野中より運動用具購入希望計画書受理・購入(6/5) ①各小中学校へ「全国空手・武道指導者研修会開催要項」「国際パラリンピック委員会公認教材『1'mPOSSIBLE』日本版」「令和2年度第1回幼少期の体力向上サポート研修会開催通知」「令和2年度とちぎ未来アスリートプロジェクト募集開始事前通知」「部活動実施に係る対応マニュアル」「各地区中学校体育連盟が実施する大会の安全管理徹底について文書」等配布(6月随時)		
	7月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者へのスポーツ指導者育成教室開催案内	①各中学校へ「学校施設を利用した練習試合等を開催する際の留意事項通知」「令和2年度チームとちぎジュニア選手認定通知」「令和2年度運動部活動指導者研修会関連書類」「部活動実施に係る対応マニュアル」を送付(7月随時) ①各小中学校へ「令和2年度体力アップ推進シート」を送付・活用依頼(7/17) ③益子西小より運動用具購入希望計画書受理・購入(7/27)		
	8月	②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第1期分）実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ③令和元年度の新体力テストが実施され、小・中学生のA級以上取得者割合の現状把握。 ③小中学校の健康・体力づくりの取組について、運動用具の整備・充実を図る。	③田野小・益子西小学校より運動能力向上運動用具計画書受理・購入(8/3) ①各小中学校へ「オリ・パラ全国展開事業実践事例集」を送付(8/20) ③第1回益子町子ども体力向上プログラム作成委員会の開催(8/25)		
	9月	③第1回体力向上プログラム活用授業参観・授業研修会開催（益子小）③全国大会出場時は懸垂幕作成	②各中学校へ「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」「登山指導者講習会の開催通知送付」送付。各小中学校へ「令和2年度第2回幼少期の体力向上サポート研修会開催通知」送付(9月随時)		
	10月		②各小中学校へ「今年度の体育における学習活動の取扱いについて」配布(9月随時)県教委へ「令和2年度各種大会優勝者等表彰候補者の推薦」報告(10/16) ①中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼(10/28)		
	11月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ③全国大会出場時は懸垂幕作成	②各小中学校へ「日本財団あすチャレR3年度募集通知」配布(11/17)「24時間テレビ障害者スポーツ支援への協力案内通知」「令和2年度中学校・高等学校運動運動部に関する調査結果」配布(11/18) ①益子中学校より次年度バドミントン部に新規外部顧問申請報告(11/18)		
	12月		②各小中学校へ「学校レクリエーション講習会開催通知」配布(12/17) ①中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第2期分）謝金支払処理(12/8)		
	1月		②各小中学校へ「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2021の開催通知」配布(1/7)「家庭での体育、保健体育の学習コンテンツの活用案内通知」配布(1/21)		
	2月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室の開催・案内周知 ②中学校運動部活動外部指導者・部活動顧問の源泉徴収票作成処理 ②中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼・謝金支払処理 ③全国大会出場時は懸垂幕作成	②各小中学校へ「第77回国民体育大会に向けた競技力向上事業計画一覧」配布(2/1) ①中学校運動部活動外部指導者派遣事業の（第3期分）実績報告書提出依頼(2/16) ③益子中学校卓球部（男子団体・女子団体）全国大会出場懸垂幕を役場庁舎壁面へ掲示(2/22)		
	3月		②各小中学校へ「令和2（2020）年度児童生徒の体力・運動能力調査」学校担当者会議に関わる実践発表の動画配信及びアンケート依頼文書」配布(3/5)「令和2（2020）年度栃木県オリンピック・パラリンピック教育推進事業リーフレット」配布。各中学校へ「令和3年度益子町立中学校運動部活動等外部指導者派遣事業の派遣申請書」「令和3年度益子町部活動顧問派遣事業の派遣申請書」提出依頼。(3/11)申請報告受理(3/17)決定通知送付(3/23)		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②20運動部中、現在13運動部にて、中学校運動部活動外部指導者派遣事業を実施。7運動部にて、中学校運動部活動外部指導者不在という状況となっている結果であるが、昨年度は6部活だったので派遣数は1部活減少した。(益子中バレーボール部)</p> <p>③令和2年度の栃木県児童生徒の体力・運動能力調査については、令和2年4月～7月の期間で実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染状況や学校の再開状況・学校現場の負担軽減等を踏まえ、今年度は中止となった。 よって今年度の現状値小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合の目標値に対する現状値については把握できない。</p>	<p>②中学校運動部活動外部指導者未派遣の7運動部においては、随時派遣申請受付を実施。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③益子町子ども体力向上プログラム作成委員会において、改定のための具体的な作業内容について確認した。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は新体力テストが実施されず、小・中学生A級以上取得者割合について取得することができなかった。</p>	<p>③各校でプログラム改定のための作業が適切にできるよう支援をしていく。</p> <p>③次期第3四半期には、第2四半期に発注した【各小中学校から要望のあった運動用具類】が全校において納品となり、活用が開始できる。これらは各小中学校において弱点だった項目に対し、その課題を克服する為に必要な運動用具が対象となっている。 新しく整備されたこの運動用具を活用し、次年度に向け、より多くの運動能力向上を計りたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため様々な大会が中止となり懸垂幕の作成はなかった。(H30は3つ、R1は4つ作成)しかし、第3四半期は町内各小中学校において、要望のあった運動用具類が全校において納品が完了となったので、今後の活用効果が多いに期待される。</p>	<p>③定期的に未来のトップアスリートの基礎をつくる教室やセミナー、指導者育成教室等の開催・案内通知が教育委員会宛に来るので、引き続き次期4半期も各小中学校や外部指導者等へ周知案内をしていく。</p> <p>③これまでの研究授業及び授業研究会における検証結果をもとに、体力向上プログラムの改善を行う予定。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>【益子町体力向上プログラム】の授業研究会が、今年度は新型コロナウイルス感染症のため実施できず、動画の導入も今年度予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から児童生徒が触れ合う事が困難なため、動画作成には至らなかった。子どもの体力向上を更に推進させる為に、今後随時改善を試みる。 また、定期的に未来のトップアスリートの基礎をつくる教室やセミナー、指導者育成教室等の開催・案内通知が教育委員会宛に来るので、引き続き次年度も各小中学校や外部指導者へ周知案内をしていく必要がある。</p>	

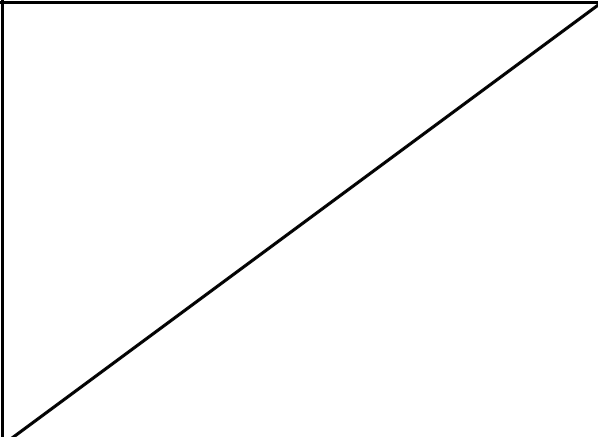
		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	各学校の運動用具の購入補助は次年度も継続予定。 体力向上プログラムは、今年度動画の導入を予定していたが、新型コロナウイルス感染症防止対策の観点から児童生徒が触れ合う事が困難なため、動画作成には至らなかった。次年度作成予定。 また、次年度は一人1台タブレット端末が導入されるので、体育の授業においてタブレットの活用が期待できる。 次半期も年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を確実にを行い、たくましく生きる人財の育成に努めたい。
	第2四半期	②意見・提言 ・各学校の実態や課題に基づいた補強対策として、関連運動用具の購入補助は継続していただきたい。また、体力向上プログラムは、内容の充実と併せてぜひ動画の導入を考えていただきたい。体育でも、タブレットを活用して個別の学習支援にも活用できると思う。	
	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・3委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・スポーツ選手などの講話、体験など、子供に良い影響、刺激を与えてもらいたい。あまり興味のなかった子でもいろいろなきっかけにやりたいことが見つかるといいと思う。 ・体力向上プログラムの作成や体力テストの成績向上のため、ハンドボール投げの教材の導入など、成果があったと思う。	/
	総括（第4四半期も含む）	・各学校の体力向上に関しては、新型コロナウイルス感染拡大によって学力テストと同様にスポーツテストが未実施だったが、各学校で補強すべき「体力づくり」の項目は1年では大きくは変わらないと思うので、学校単位で子どもたちが少しでも前より「できた」という実感できるような指導・支援を引き続き進めてほしい。スポーツテストの結果に頼らず、一人一人の成長のための指導・支援を期待したい。 ・中学校の部活動への外部指導者・顧問派遣事業では、生徒数（学級数）の減少にあわせて教員数（部活動の指導者数）も減らされるという現実から逃れることができない。子どもたち（保護者も含め）が希望する部活動で十分な力を発揮できるように、且つ教育的指導が図られるように、継続した支援が必要と考える。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人材の育成		
施策	たくましく生きるための人材の育成	進捗状況	100%		
KPI	東京オリンピック出場選手数	本年度目標値	1人以上	現状値	未実施
KPI	小学生のスポーツクラブ参加率	本年度目標値	67.0%	現状値	55.8%
KPI	小・中学生の新体力テストA級以上取得者の割合	本年度目標値	15.0%	現状値	未実施
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①一流選手の試合を観戦させるための栃木SC町民デー7/11開催の準備。栃木SCと地域支援パートナーシップ協定。 ④新年度における会員申込受付（継続・新規）の支援を行った。クラブ運営委員会にて運営の検討(4/26)現在加入者251名。クラブ活動において新型コロナウイルス対策を検討した。4月上半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	5月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。	①町体育協会総会は書面決議で対応。栃木SC町民デー(7/11)開催可否の検討。 ④新年度における会員申込受付（継続・新規）の支援を行った。クラブ運営委員会にて運営の検討(5/23)現在加入者253名。クラブ総会は新型コロナ関連で中止となり書面決議となったため、資料にて事業報告や計画、予算等についてクラブ運営等の確認した。		
	6月		①新型コロナ関連で町民デー(7/11)は「中止」とし、徳島ヴォルティス戦となる9/9で開催要望。野球教室について日程調整を始めた。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(6/16)現在加入者296名。クラブマネージャー変更について後任の選任議決。6月下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	7月		①新型コロナ関連で中止となっていた町民デーは、9/9の徳島ヴォルティス戦で開催決定したため準備開始。少年スポーツ教室について、新型コロナ関係で参加者等の安全確保や講師派遣が厳しい状況のため、全種目において中止が決定した。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(7/14)現在加入者350名。7月上半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	8月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。	①町民デー（9/9）開催に向けて8/9～9/8まで参加者募集開始。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(8/18)現在加入者377名。8月上・下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	9月		①一流選手の試合を観戦させるために町民デー（9/9）開催。栃木SC 対 徳島ヴォルティス。全体来場者1,865名のうち町民デー参加者は217名来場。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(9/8)現在加入者386名。9月下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	10月		④クラブ運営委員会にて運営の検討(10/13)現在加入者409名 とちぎ国体デモンストレーションスポーツ（ウォーキング）実施要綱確認。10月下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	11月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。	④クラブ運営委員会にて運営の検討(11/10)現在加入者427名 令和3年度スポーツ振興くじ助成事業について協議した。11月下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	12月		①来年度の事業開催に向けて、スポーツくじ振興助成金を受けるために、事業計画書や助成申請書を作成した。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(12/8)現在加入者434名 とちぎ国体デモンストレーションスポーツ（ウォーキング）や来期の新規教室、役員改選について協議した。12月下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	1月		①栃木SCとのパートナーシップ協定について、内容の精査をした。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(1/19)現在加入者436名 今後の町からの支援について検討。 ④1月下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	2月	①未来のトップアスリートの基礎をつくる教室や指導者育成教室に向けての開催準備 ②スポーツ少年団活動や中学校運動部の外部指導者派遣事業の充実を図るため、専門知識を備えた人材の育成計画の作成 ④ましこチャレンジクラブのプログラムの充実と広報活動の支援 ⑤町民に親しまれる体操を考案するため、情報の収集等を行う。	①令和3年度教室開催に向けて、会場の施設予約調整を開始した。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(2/13)現在加入者436名 R3年度事業計画について検討。 ④2月下半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。		
	3月		①栃木SCと町民デー開催及びパートナーシップ協定締結に向けて打合せをした。④クラブ運営委員会にて運営の検討(3/9)現在加入者436名。R3年度現在加入者78名。町への要望、コロナ自粛からの再開現状について検討。④3月上半期お知らせ版にて、会員募集について掲載した。上半期では裏面全面を使用して掲載することができた。		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①少年スポーツ教室は、一流選手のオフシーズンに実施するため、11月頃から開催する予定。どのような選手や指導者に依頼するかを検討し、交渉に入っていく。また新型コロナウイルスの感染拡大を注視しながら、各種目ごとに開催の有無について併せて検討していく。7/11開催予定であった町民デーは新型コロナウイルス関連で中止とし、再組合せの結果、7/11対戦予定であった徳島と9/9対戦することとなり、その日を町民デーとして開催したいと要望している。開催する際には、従来より簡素な町民デーとして実施予定。</p> <p>④運営委員会等に参加し、事業の検討を行い、運営方法や参加者増に向けた広報活動、プログラムの検討を随時行っている。また、6/19時点で296名の加入であり、前年度の6月(510名)と比べて、減少傾向である。新型コロナウイルス関連でクラブ活動の自粛のため加入進捗が遅れている。今後、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動が必要である。クラブ事務局員が7月から変更になるため、運営がスムーズに進むよう事務的な支援を随時行う必要がある。</p>	<p>①少年スポーツ教室については、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、教室開催可否と併せて、安全に開催するための方策を検討しつつ、一流のアスリートを呼べるように交渉を行っていく。</p> <p>④ましこチャレンジクラブに参加したくなるような、プログラムの内容及び広報内容について検討をして、継続して広報に掲載していく。</p> <p>⑤引き続き、保健センターと情報を共有しながら、普及方法について検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①少年スポーツ教室は、開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス関係で参加者の安全確保や講師の派遣が厳しい状況のため中止とした。9/9開催町民デーは、コロナ禍の中で初めて開催するサッカー観戦のため、栃木SCと入念に打合せをして開催した。参加者が217名であり、予想以上に多くの方が町民デーに参加され、栃木SC関係者も喜んでいました。</p> <p>④運営委員会等に参加し、事業の検討を行い、運営方法や参加者増に向けた広報活動、プログラムの検討を随時行っている。また、9/8時点で386名の加入であり、前年度の9月(527名)と比べて、減少傾向である。新型コロナウイルス関連でクラブ活動の自粛があったため加入進捗が遅れている。今後、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動が必要である。Toto助成金が打切りになった後のクラブ運営方法及び町からの支援について、更に検討を進める必要がある。</p>	<p>①少年スポーツ教室について、今年度は中止となってしまったが、来年度に向けてスポーツ教室の効率的及び効果が上がるように、講師の選定や開催方法を検討していく。</p> <p>④ましこチャレンジクラブに参加したくなるような、プログラムの内容及び広報内容について検討をして、継続して広報に掲載していく。</p> <p>⑤引き続き、保健センターと情報を共有しながら、普及方法について検討していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①来年度の事業開催に向けて、スポーツ振興くじ助成金を最大限に活用できるように計画を進めたい。</p> <p>④運営委員会等に参加し、事業の検討を行い、運営方法や参加者増に向けた広報活動、プログラムの検討を随時行っている。また、12/8時点で434名の加入であり、前年度の12月(580名)と比べて、減少傾向である。新型コロナウイルス関連でクラブ活動の自粛があったため加入進捗が遅れている。今後、継続及び新規加入者の確保のため、引き続き広報活動が必要である。Toto助成金が打切りになった後のクラブ運営方法及び町からの支援について、更に検討を進める必要がある。</p>	<p>①少年スポーツ教室について、今年度は中止となってしまったが、来年度に向けてスポーツ教室の効率的及び効果が上がるように、講師の選定や開催方法を検討していく。スポーツ振興くじ助成事業の助成金を、最大限に活用できるよう要綱の確認、把握する必要がある。</p> <p>④ましこチャレンジクラブに参加したくなるような、プログラムの内容及び広報内容について検討をして、継続して広報に掲載していく。Toto助成金が打切りになった後のクラブ運営方法及び町からの支援について、更に検討を進める必要がある。</p> <p>⑤引き続き、保健センターと情報を共有しながら、普及方法について検討していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①来年度の事業開催に向けて、スポーツ振興くじ助成金を最大限に活用できるように計画を進めたい。</p> <p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。</p> <p>3/9時点で436名の加入であり、前年度の3月(586名)と比べて、減少傾向にある。新型コロナウイルス関連により活動の自粛があったため、会員数が増えない状況であった。現在、クラブ活動が再開しているので、令和3年度の新規加入者を確保するため、広報活動を継続して進める必要がある。</p> <p>Toto助成金が切れた後のクラブ運営方法及び町からの支援について、引き続き検討を進める必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">/</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	少年スポーツ教室については、来年度開催する際には、多くの子ども達が興味を持ち参加出来るよう、周知方法を検討していきたい。スポーツクラブ参加率については、スポーツ少年団団員募集を、お知らせ版をおして掲載を1回から2回に増やしたので、今後も継続して周知していく。 ましこチャレンジクラブの会員を増やすために、どのような周知方法があるか掲載内容も検討して行きたい。
	第2四半期	②意見・提言 ・今年度はコロナ禍でスポーツクラブの参加については現状維持がやっとではないかと思う。今後とちぎ国体も控えているので、スポーツ教室をクラブチーム、部活単位で開く現行のやり方と、もっと広く考えて学校単位にしてみるなど、スポーツへの興味関心を高める方向にシフトさせてみるということもあってよいと思う。スポーツに関心を持つ子ども達が一人でも多くなったら、クラブチームでもっとやってみたい、と思うかも知れない。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	①評価 A：目標を達成・・・0委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・2委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・今後も少年スポーツ教室の維持を望む。	
	総括（第4四半期も含む）	・スポーツクラブへの参加数が減少傾向であることはやむを得ないところ。コロナ禍にあって、活動をアピールする場（例えば大会や公開練習会等）もない中で、クラブを維持できていることをまずはよしとすべきだと考える。 ・今後のこととして、当たり前のことだが、①コロナ感染が続く中と、②ある程度落ち着いた後の支援策を、クラブの意見や要望などを聞いた上で考えて行くことが必要。 ※ 当然参考にするとは思いますが、国や県から示されている感染症対策のマニュアル+町独自（利用施設・人数など）特殊条件等を十分考えて進めてほしい。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	社会的に自立した人を育てる	政策	未来にはばたく人財の育成		
施策	人材が育つ環境づくり	進捗状況	100%		
KPI	町民学士認定者数	本年度目標値	250人	現状値	233人
KPI	ましこ検定の合格者数	本年度目標値	60人	現状値	78人
KPI	遊びの達人の登録者数	本年度目標値	25人	現状値	25人
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①町民大学総合講師廣瀬隆人先生依頼、方向性、カリキュラム打ち合わせ ②第1回実行委員会は新型コロナウイルスの影響により、書面開催とし、資料を発送した（4/28、第4回ましこ検定結果報告・取支決算報告・令和2年度年間計画について）	
	5月	①ましこ町民大学 カリキュラム策定 ②第1回ましこ検定実行委員会の開催（昨年度実施した、ましこ検定の結果報告）		①町民大学募集要項策定。パンフレット設置（役場、中央公民館、あぐり館、改善センター、道の駅ましこ）	
	6月			①町民大学打合せ6/24	
	7月			①7/6入学式、7/13.20.27開催	
	8月	①ましこ町民大学開校 ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（募集チラシの検討）		①8/31開催 ②第2回ましこ検定実行委員会の開催（8/25、9名参加 ましこ検定日程、難易度、合格証・特典について）	
	9月			①9/7.12.14.28開催 ②ましこ検定問題作成検討会の開催（9/19、6名参加 上級試験の内容・配点・問題等の検討）	
	10月			①10/12.17.19開催 ②第3回ましこ検定実行委員会の開催（10/29、9名参加 ましこ検定チラシ、上級試験の難易度、合格特典等の検討）	
	11月	①ましこ町民大学の運営 ②第3回ましこ検定実行委員会の開催（出題問題の検討） ③遊びの達人講座の開催		①12/14.21開催	
	12月				
	1月			②ましこ検定問題（中学生用、一般用（初級・中級・上級））作成	
	2月	①ましこ町民大学の運営 ②第4回ましこ検定実行委員会の開催（最終調整）、ましこ検定の実施		②第4回ましこ検定実行委員会の開催（2/10、7名参加 第5回ましこ検定申込状況、中学生受検日程、問題（初級・中級・上級・中学生）の最終確認について） ②益子中検定実施（2/22、86名受検） ②第5回ましこ検定の実施（2/27、初級8名・中級3名・上級6名、計17名受検）	
	3月			②田野中検定実施（3/15、42名受検） 七井中検定実施（3/18、54名受検）	

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①本年度より高校生を対象に開催。 ②ましこ検定結果として昨年度は中学生が新型コロナウイルスの影響により受験できなかったが、一昨年受験した際は合格率が低かったため、中学生の合格率を上げる対策が必要。</p>	<p>①高校生にあったカリキュラムの検討する。 ②ましこ検定の中学生の合格率を上げる方策として、勉強会等講座を希望した学校については、ましこ検定実行委員会や観光ボランティアガイドましこの皆さんの協力をいただき、こちらから学校に向向いて町の概要や歴史、文化財等の講義ができればと考えている。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①本年度より高校生を対象に開催。 ②ましこ検定実行委員会では、検定日を2月27日(土)午前中に行うことで決定した。また、中学生受験は各中学校に働きかけを行うことや一般の部では上級試験を追加することとした。</p>	<p>①難しい話もあり、飽きている生徒がいた。今後は、高校生にあった話し方の検討が必要。 ②各中学校の働きかけを行うことや、初級・中級・上級試験の問題等協議が必要。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①12/21アクションプラン発表会、卒業式を実施。44名が卒業。 ②ましこ検定実行委員会では、チラシのレイアウト、上級試験の内容・配点、合格特典(上級合格者は陶芸メッセのマグカップと名入りボールペン)を決定した。</p>	<p>①8班によるアクションプランの発表は素晴らしかった。次年度に向け、プログラムの見直しを行う。 ②ましこ検定実行委員会で意見をいただいた初級・中級・上級試験問題の検討、各中学校で開催するましこ検定の日程調整が必要。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②ましこ検定(一般の部) 初級：申込者8名、受験者8名 合格者6名、不合格者2名 中級：申込者3名、受験者3名 合格者2名、不合格者1名 上級：申込者6名、受験者6名 合格者5名、不合格者1名 合計：受験者17名、合格者13名 ましこ検定(中学生の部) 初級のみ：受験者182名、合格者65名 合計：受験者199名、合格者78名</p> <p>今年度から一般の部で上級試験を開催したことから受験者数は前年度に比べ、増加した。また、中学生の部では前回正答率が低かったため、比較的わかりやすい益子町の概要を増やし、文化財の問題を少なく設定したことで正答率が大幅にアップした。</p>	

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・3委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 ・遊びの達人は、子ども達が一人でも多く参加するように、簡単なものから興味が湧くようにして、達人から色々学んで欲しい。また、お年寄りと接するという点でもよい機会だと思う。 ・ましこ町民大学は第7期から高校生が対象とのこと。次期計画での見直しが妥当と思う。	・ましこ検定については、現在はましこ検定実行委員会や観光ボランティアガイドましこの皆さんの協力をいただき、各学校へ向いて町の概要や歴史、文化財等の講義ができればと考えている。今後は、社会情勢を鑑みて、益子町出身の方々にも講師をお願いし、中学生に関心をもってもらえるような内容にしていきたいと思っている。
	第2 四半期	・7月に提案したとおり、ましこ検定については中学1年生の受検というのは、総合的な学習の時間での地域学習と合致するところである。学校にお願いするだけでなく、町職員の出前講座や第1回検定で初級に合格しているタレントの井上咲楽さんや町出身の法務人史人さん（元気寿司社長）などを講師として中学校に派遣したら、興味関心はもっと高まると思う。（お二人とも、ボランティアで引き受けてくれた場合に限るが） ・高校生による町民大学でつくった「アクションプラン」は、どんな形でも良いので町民に公開していただきたい。若い世代が考える「まちづくり」は、今後の益子町像を描くうえでもヒントがあると思う。また、受講した高校生を発信源にして、身近な地域に関心を持つ若い世代が増えて、18・19歳の選挙の投票率が上がることも期待したい。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	①評価 A：目標を達成・・・2委員 B：目標は未達成だが、相当程度の成果有・・・1委員 C：成果が見えず取組を継続すべき・・・0委員 D：成果が見えず取組を終了すべき・・・0委員 ②意見・提言 ・ましこ町民大学は4年間の最終年として、高校生を巻き込んで若者の視点で「まちづくり」を考えるよい機会となったと思う。高校生が考えた「アクション・プラン」の内容は今後のまちづくりにも大いにヒントとなるものだと感心した。町民大学はいったん終了して、「ましこ未来大学」として益子芳星高校徒の連携事業に受け継がれるので、今後の取組に期待したい。	
	総括 （第4 四半期も含む）	・ましこ検定は、特に中学生の興味関心を高めることを考えれば、一般の受検者より出題レベルを下げたというのは、よい選択だったと思う。（特に中学生にとっては、「合格した」、「できた」というプラスの意識を高めることは、意味のあることだと考える。） ・ましこ町民大学は、これから高校生を対象に続けていくのか。 ・ましこ検定の合格者数はKPI達成。検定実行委員会が何度も開催され、問題作成等に尽力されたと思う。検定の実施目的は、益子町について学び、より深く知り、興味を持ってもらうことであると考えられるので、今後も受験合格者が増えていくことを期待している。	